

(15) 英国 UK

基礎データ

人口：6,561万人（2018年）
 名目 GDP：2兆8,286億米ドル（2018年）
 1人当たり GDP：42,558米ドル（2018年）
 実質 GDP 成長率：1.40%（2018年）

日本との関係

日系企業数：986社（2018年）
 在留邦人数：62,887人（2017年）
 日本食レストラン数：全国に約930店。ロンドン市内約580店。（2018年）

1 市場の特性と消費の傾向

寿司文化は定着するも、白米のまま食べる習慣はない

A 市場の特性

英国は基本的にコメを生産しておらず、EU 第1位のコメ輸入国です（フランス農業・食料省調べ）。英国のコメの輸入量は、ここ10年間で見ると70万トン前後で推移しています。最大の輸入先はインドで、この10年間は20～30%のシェアを占めています。

英国における国民1人当たり年間精米供給量は、1998年以降から急激に増加し、2011年には約7kgに達し、2014年以降は7.5kg超で推移しています（FAD調べ）。同時期に英国への移民数も増加しており、その中にはインドやパキスタン、中国などコメを主食とする人も多く、これらの層の増加がコメの供給量の変化の一つの要因となっていると考えられます。

B 消費の傾向

ロンドンでは高級店からカレーやお好み焼きといった店まで幅広い日本食レストランが展開しており、日系資本の専門店の進出も増加しています。寿司や弁当、麺類、カレーなどのテイクアウト専門店も人気です。ロンドン発のカジュアルな日本風レストラン「Wagamama」や回転寿司店「YO! Sushi」などがチェーン展開しており、英国外にも進出しています。一方で、日本食は高価なイメージも強く、スコットランドや地方ではまだ一般に普及しているとは言えません。

また、コメを炊飯して白米のまま食べる習慣が英国にないことから、英国人にとって日本米を消費する主たる場は、日本食レストランやアジア系のレストラン、テイクアウトショップ等の中食・外食で、日本米は「Sushi Rice」という認識が一般的です。テイクアウトの寿司等を販売する日本食材店では、一般の炊飯より寿司米の需要がはるかに多いという声もあります。

表-1 コメの生産・消費・輸出入の状況

	2015	2016	2017
生産量（トン）	0	0	0
消費量（トン）	515,000	502,000	504,000
輸出量（トン）	51,869	54,644	58,528
輸入量（トン）	725,766	602,066	710,149

表-2 日本からのコメの輸出状況

	2017	2018	2019
輸出量（トン）	695	422	450
輸出単価（円/kg）	275	287	291

表-3 日本からの米菓の輸出状況

	2017	2018	2019
輸出量（トン）	21	18	21
輸出額（百万円）	26	22	32

コメの主な輸入先国

インド、パキスタン、ミャンマー、タイ、ベトナム、カンボジア、中国、米国、ガイアナ、ウルグアイ、ロシア、フランス、イタリア、スペイン、ギリシャ、ポルトガル、ブルガリア、ルーマニア、ハンガリー

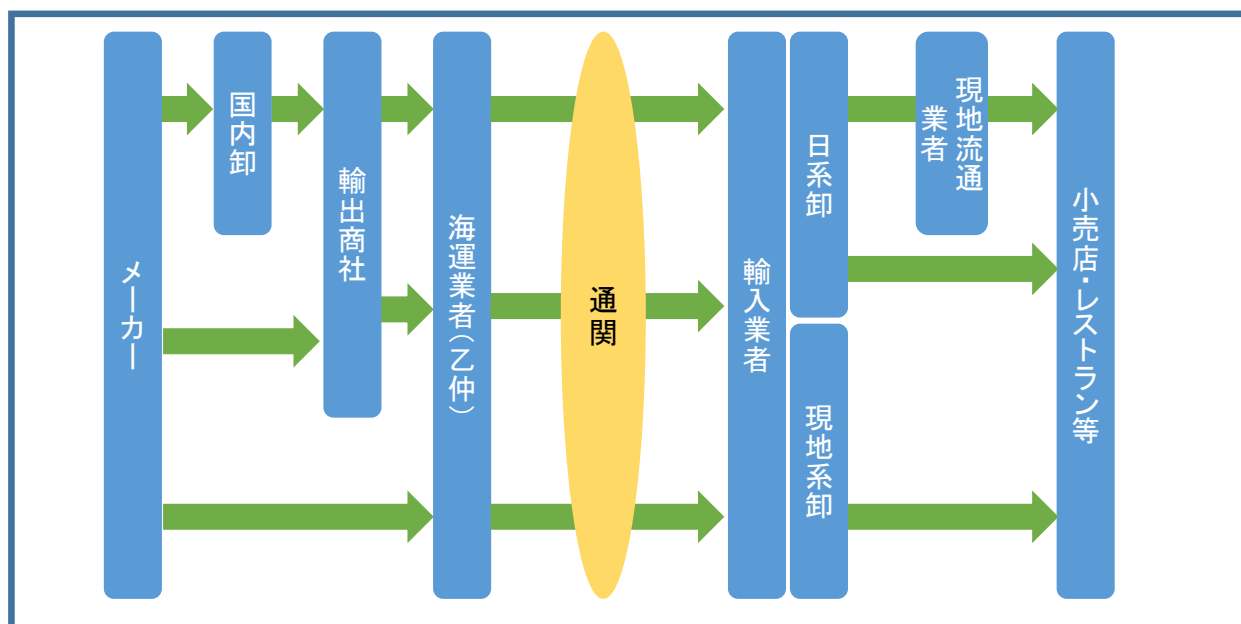
(15) 英国 UK

2 流通チャネルと取引慣行

日本食材の流通は日系卸がその大半を担う

A 日本米の流通経路

日本産食品の英国における流通は日系卸がその大半を担っています。日系卸は通常は日本国内にパートナーとなる輸出商社を有しており、日本のメーカー・生産者が取引する場合にはその指定商社へ納品するのが一般的です。



(出典) 日本貿易振興機構 (JETRO) 「英国の日本食品市場の現状について (2016年7月)」より

B 取引慣行

日本産米は船便の常温コンテナ輸送で運ばれることが一般的です。英国に到着するまでに2か月程度を要しますが、英国は日本に比べて冷涼・乾燥しているため、英国では長期間精米状態で保存しても日本ほど品質劣化は発生しません。

海上輸送の費用はドル建てで、需給や原油価格の動向等による変動が大きく、月に20%程度上下することもあります。

日系輸入業者の主たる販売先は、日本食レストランや日系小売店で、市場の広がり小さくとも安定的な取引が可能です。年に数回は日本から現地へ行き、営業や試食販売等の活動を行う輸出業者が売り上げを伸ばしています。現地系の輸入業者を通じた取引は、ラベル対応や荷姿、原材料、認証取得など輸出業者側に求められる条件が格段に厳しくなります。ただ、これらをクリアできれば現地での宣伝効果は高く、市場も大きく広がります。

(15) 英国 UK

3 関税割当枠と関税

EU の関税体系を適用

関税割当枠

玄米または精米を 1 トンを超えて輸入する輸入事業者は、事前に輸入ライセンスを取得する必要があります。また、輸入関税がゼロもしくは減額される輸入割当枠がありますが、この割当枠を利用する場合、輸入する重量に関わらず、輸入割当ライセンスの取得が必要です。

精米は、米国、タイ、オーストラリア以外のすべての国の合計で年間 1,805 トンの輸入関税割当が設けられ、関税率がゼロに設定されます。また、玄米は従価税が 15% に固定される割当額が合計で年間 1,634 トンです。なお、日本産玄米の場合、通常は価格単価が高いため、関税割当を用いた場合の関税率よりも通常の関税率の方が低くなる場合があります。

関税

EU は域外共通関税制度の下で、域外からの輸入品の関税率は域内各国で一律となっています。

なお、2019 年 2 月に発効した日 EU 経済連携協定（EPA）において、コメは関税削減・撤廃の対象外ですが、米菓については関税が即時撤廃されました。

〈玄米および精米が該当する CN コードと関税率〉

玄米（1006.20）： 30 ユーロ/トン

精米（1006.30）： 175 ユーロ/トン

米菓（1905.90）： 含有成分により異なる（日 EU・EPA により無税）

包装米飯（1904.90.10）： 8.3% + 46 ユーロ/100 キロ

なお、英国は 2020 年 1 月 31 日に EU を離脱し、2020 年 12 月末までが移行期間となっています。移行期間は 1 年又は 2 年の延長が可能となっており、移行期間中は EU 法・関税体系が適用されます。期間終了までに EU との貿易協定に合意すれば 2021 年 1 月 1 日から新たなルールが発効しますが、貿易協定・関税率の交渉については今後も注視する必要があります。

4 検疫制度と食品規制

EU 規則に基づき規制

A 検疫制度

コメや米菓を輸出する場合、特別な検疫上の措置は求められません。また、植物検疫証明書の取得も不要です。ただし、米菓に動物性原材料が含まれる場合は、EU への輸出が不可能な場合や、可能であっても動物検疫を要する場合があります。

(15) 英国 UK

B 食品規制

製品表示の内容

- a. 食品名
- b. 原材料リスト（単一原材料であるコメは省略可能。食品添加物については『用途＋化学物質名またはEナンバー』で示す必要）
- c. アレルギー誘発物質（※1）
- d. 特定成分の分量や使用割合（※2）
- e. 正味量
- f. 賞味期限・消費期限
- g. 特別な保管条件や使用条件（ある場合）
- h. 輸入業者の名称・住所
- i. 原産国（※3）
- j. 使用方法（説明が必要な場合）
- k. 実際のアルコール度数（飲料で1.2%以上の場合）
- l. 栄養表示（※4 ただしコメは表示義務なし）

- ※1 グルテンを含む穀物、甲殻類、卵、魚、ピーナッツ、大豆、乳（ラクトース含む）、ナッツ類、セロリ、辛子、ゴマ、10mg/（Lあるいはkg）の二酸化硫黄または亜硫酸塩、ルピナス、軟体動物を含む場合。原材料リストの強調表示により表記可能。
- ※2 商品名に含まれる原材料（Rice CrackerのRiceなど）やラベル表示で強調されている原材料が該当する。
- ※3 最終製品の原産地と主原料の原産地が異なる場合に表示する必要。
- ※4 エネルギー（kcalとKJの両方）、脂肪、飽和脂肪酸、炭水化物、糖類、タンパク質、塩分について100gあるいは100mlあたりで表記。

残留農薬基準

ポジティブリスト制となっており、欧州議会・理事会規則（EC）No 396/2005によって食品の種類ごとに規定されています。すべての食品に対する残留農薬基準値は、「EU農薬データベース（EU Pesticides database）」で検索が可能です。

重金属・汚染物質

欧州委員会規則（EC）1881/2006により食品カテゴリー毎に汚染物質の上限値が規定されています。コメではヒ素（玄米で0.25mg/kg、精米で0.2mg/kg）及びカドミウム（0.2mg/kg）等の基準値となっています。

原発関連輸入規制

コメ・米菓いずれについても放射性物質検査証明書・産地証明書の添付は不要です。（2020年1月現在）

(15) 英国 UK

5 小売店の店頭価格

日本産は他国産よりも総じて高額

A コメの販売価格

日本産米は、主に日本食材店で販売されており、現地系スーパーでの取り扱いは基本的ではありません。ジャポニカ米については、欧州のコメ生産国であるイタリアやスペインから輸入されています。また、タイ産や米国産のコメも日本産米よりも廉価で販売されています。

表-4 コメの販売価格 (調査月：2019年4月)

商品名	原産国(産地)	販売単位	価格 (英ポンド)	円換算*
ゆめにしき イタリア産 コシヒカリ	イタリア	5kg	17.59	2,539
みのり スペイン産 アキタコマチ	スペイン	10kg	49.99	7,216
無洗米 アキタコマチ	日本 秋田県	5kg	34.99	5,051
富山県産 コシヒカリ	日本 富山県	5kg	24.99	3,607
Yutakaブランド ササニシキ	タイ	10kg	27.99	4,040
にしき アメリカ産カリフォルニア米	米国	10kg	27.75	4,006

B 包装米飯の販売価格

包装米飯は、英国でパッケージされたものやフランスなど欧州産のものが販売されています。欧州産のものの中には、英国の大手小売のプライベート・ブランドの商品も見受けられます。日本産は他国産に比較して総じて高額です。

表-5 包装米飯の販売価格 (調査月：2019年4月)

商品名	原産国(産地)	販売単位	価格 (英ポンド)	円換算*
マルちゃん 味の一品赤飯	日本	170g	3.02	436
越後製菓 日本のごはん	日本 新潟県	120g×4	6.21	896
Sainsbury's brand mushroom rice	フランス	250g	0.65	94
Tulsa Brand Pilau Rice	英国	250g	1.3	188
Batchelors Savory Rice Chiken	英国	100g	0.81	117
Uncle Bens Microwave vegetable rice	欧州	250g	1.69	244

C 米菓の販売価格

米菓は日本産の他、タイ産や中国産など、日本以外のアジア産のものが見受けられます。日本産はタイ産や中国産の2~4.5倍の価格で販売されています。

表-6 米菓の販売価格 (調査月：2019年4月)

商品名	原産国(産地)	販売単位	価格 (英ポンド)	円換算*
亀田 柿の種 ワサビ	日本	182g	4.65	671
亀田 梅の香巻き	日本	16枚	3.93	567
まがりせんべい うまみ醤油	日本	18枚	4.7	678
Blue Dragon Original Rice Crackers	タイ	100g	1.03	149
Bin Bin Original Rice Crackers	タイ	150g	1.37	198
Want want shelly rice cracker	中国	112g	1.95	281

*2019年4月為替レート：1英国ポンド=144.35円

(15) 英国 UK

6 インターネット販売の実態

急成長するネットスーパー市場

英国のネットスーパー市場は、早くから大手スーパーマーケット数社が参入し、国内グローサリー小売市場において最も急速な成長を続ける分野です。2017年の市場規模は約 113 億ポンドと推定され、大手各社の参入が揃った 2012 年以来、市場は急速な成長を続け、2017 年から 2022 年の 5 年間では、約 1.7 倍の 196 億ポンドに拡大すると予測されています。

日本食材を扱う E コマース（EC）も登場

日本食材店によるオンラインショップやインターネット専業の小売店も登場しており、日本食関連商品の購入が以前よりも容易になっています。また、一部店舗では、欧州他国への配送も行っています。

英国のネットスーパーにおける主要プレイヤー

- a. Tesco : <https://www.tesco.com/>
- b. Sainsbury's : <https://www.sainsburys.co.uk/>
- c. Asda : <https://groceries.asda.com/>
- d. Ocado（※実店舗を持たないオンライン特化型）：
<https://www.ocado.com/webshop/startWebshop.do>

<日本産米をオンライン販売する日本食材店>

- e. T.K. Trading : <https://japan-foods.co.uk/>
- f. JAPAN CENTRE : <https://www.japancentre.com/ja>

7 輸出拡大に向けて

日本産米は無関税で流通している EU 圏内のイタリア産米やスペイン産米との間に価格差が大きいため、念頭に置いて訴求を図る必要があります。他方、英国は欧州の中で最高水準の肥満率等を背景に健康志向が高まっており、日本食の健康的なイメージやニーズを踏まえた PR・販売方策が必要です。